

# 古川なおき 第117号 レポート



自由民主党横浜市議員 古川なおきの政務調査報告

一月刊 2013年5月27日

## 公共建築物の木造化

お元気ですか！冒険家の三浦雄一郎さんが80歳でエベレスト登頂に成功されました。何歳になってもあきらめずに挑戦し続けることの大切さを教えてくださいました。また地元旭区のプロボクサー八重樫東選手はWBCライト級で世界王者に返り咲きました。困難なことがあっても不屈の精神で努力したいものです。

### ○心をととのえる自然の力

さて、今回は先日NHKのクローズアップ現代(4月18日放送)でも特集された「公共建築物の木造化」についてです。現代社会は、人と人とのコミュニケーションが上手くできず人間関係が希薄化していると言われていいます。良好な人間関係が築けず、イライラしたり、消極的になったり、精神的に不安定な方も多いようです。自殺による電車のダイヤの乱れや学校現場のいじめ、不登校問題も現代社会を象徴しています。

これらの原因は、家庭教育の崩壊、過度にネガティブな報道、低俗なテレビ番組、パソコンや携帯電話の普及、食品添加物など様々なことが考えられます。身の回りに溢れている化学物質なども原因かもしれません。これと言った解決策はないのかもしれませんが、私は「やさしさ」や「思いやり」など人間が本来の人間らしさを取り戻すために、樹木や田畑、海などの自然を活用できないものか、と以前から思っています。休日に緑が沢山ある市民の森や公園に行ったり、遠出をして海や山でキャンプをすると気分がリフレッシュされます。自然は素直で、嘘や偽りがなく、ありのままの姿で私たちに接してくれるので、心が癒されるのかもしれません。「農地や緑地の保全」「都市農業や市民農園、収穫体験農園の推進」「街路樹の整備」そして「公共建築物の木造化」を促進したいと思います。

### ○公共建築物等木材利用推進法の制定

木材は鉄やコンクリートに比べて自然の森から生まれる素材なので、心が安らぎ、温かみを感じます。しかし、開発が進む都市部では、せめて身近に国内産の木を使用した在来工法の木造家屋や木造校舎などの木造建築物が多くあればと思いますが、戦後、木造建築物は大幅に減っています（特に公共建築物の木造率は約8%と低い）。木造建築物が減り、国内産の木の流通が減ると日本の森林は衰退してしまいます。

そこで、政府は2010年に「公共建築物等木材利用促進法」を制定し、国や地方公共団体が公共建築物については可能な限り木造化や木質化（内装や外装などを木質化）を図り、整備する低層の公共建築物は原則として全て木造化を図るとの目標を掲げました。横浜市でもこの法律に基づき、今年度に木材利用の方針を定めます。政治家としてアピールするのは、またかと思われるかもしれませんが、もちろん私が横浜市に要望しました。（笑）

### ○都市の木造化

公共建築物の中でも、特に子どもたちに良い影響が考えられる学校や保育園を中心に木造化を進めてほしいと思います。また木造化が困難な建築物は内装等の木質化を促進すべきだと思います。以前、道志村にある横浜市の水源かん養林の間伐材を活用して、教室の壁を木質化した小学校を見学したことがありましたが、それだけでも教室内の空気が和みます。最近では耐震性、耐火性も考えられた工法があり、国土交通省では実験を行っていて、木造校舎の安全性も高まっています。校舎の「校」という字は、「木」に「交」わると書くのですから本来の校舎の姿に戻したいと思います。

民間ビルでも最近では1000度近い炎でも燃え尽きない全長12メートルもある木の柱の開発など木造技術が進歩していて、横浜市内でも大型ショッピングセンターの木造での建築が進んでいます。都内では5階建ての木造集合住宅が建設中です。官民上げて木造建築物が街にあふれ、「都市の木造化」が進めば、人々が心和やかに、快適に暮らすことができるかもしれません。横浜市には、林業はありませんが、370万人の大消費地でもありますので、横浜市が先頭に立って建築物の木造化に取り組んでいくことができるよう、私もがんばりたいと思います。木と紙は日本の文化です。建築物の木造化を進め、日本の森林を健全に育成し、林業を成長戦略の一つにしてもいいのではないかと思います。皆様のご意見をお待ちしております。

横浜市議員 古川なおき



◀木造で建築中のビル（横浜市内）

古川なおき  
プロフィール

県立希望ヶ丘高校・明治大学 卒業/明治大学公共政策大学院 修了  
横浜銀行勤務後、衆議院議員秘書  
平成7年4月 横浜市議員初当選(26才最年少)  
現在 平成25年 水道・交通委員会副委員長  
孤立を防ぐ地域づくり特別委員会  
自民党横浜市議員団所属/横浜市会FCキャプテン  
希望ヶ丘高校同窓会桜蔭会 理事  
旭区サッカー協会顧問/旭区スポーツダンス協会顧問  
旭区卓球協会顧問/旭区食品衛生協会顧問

## 横浜市における公共施設の木造建物の事例紹介

### 【上郷矢沢コミュニティハウス】 【新治里山公園】

外観



外観



### 【こども自然公園（トイレ棟）】

外観



内部



内部



内部



※横浜市建築局資料より

## 古川なおき事務所学生インターンレポート

大学1年生、春休み。私は3人のインターン生と共に議員インターンシップに参加しました。主な活動として、駅頭でのレポート配布とポスティングがありました。私の想像とは裏腹に地味で地道であり、根気が必要な仕事でした。冷え込みが厳しい時期ということもあってなおさらでした。また、地域の商店街のお手伝いや特別養護老人ホームでの1日体験など、忘れられない貴重な体験も数多くさせていただきました。

そんな活動の中で見たのは、政治家の胡散臭さでも横柄さでもなく、真面目に、でも楽しんで仕事をする姿勢でした。なおきさんが、お金のためでも地位や名誉のためでもなく、町を、日本を元気にしたいという思いで政治家をやっていることがひしひしと感じられ、そんな熱い雰囲気初めは圧倒されそうになりました。しかしそんな活気ある事務所だったからこそ、私もこの事務所の一員としてやれることを頑張ろうと思えました。駅頭やポスティングも、税金をいただいて仕事をしている者としてどんな活動をしているかきちんと報告したい、という思いでレポートを書いていることを知らなければ、きっと私はただのボランティアに時間を費やしていると思ったかもしれません。

2か月間のインターン活動を終えて以前より格段に意識するようになったことが2つあります。まず、感謝する心です。直季さんは普段から口を酸っぱくして、感謝の気持ちを忘れるな、とおっしゃいます。言ってしまうと誰でも言えそうな

このセリフがしっかり私の中で現実味を帯びたのは、それを言っている本人が本当に感謝の気持ちを忘れないからでした。本人に限らず事務所の方々みんなそうです。「朝早くからありがとうございます」「寒い中わざわざありがとうございます」「今日は来てくれてありがとうございます」インターン生の私たちにいつもそんな風に言ってくださいました。私のインターン活動に付き合っていたいて、そんなスタンスでいた私には目から鱗でした。

それからもうひとつ、自分に矢印を向けてみる、ということです。これもなおきさんがよくおっしゃっていたことです。なんとなく他人や環境のせいにしてしまっていたことをふと、自分はどだったのかな、と考えてみる。すると意外と発見があったりします。なかなか難しいことだと思うけれど、実践していきたいと思いました。

私はもともと、政治に関して無知で無関心で、そのくせ勝手な先入観でなんとなく良くないイメージをもっていました。そんな私が今回この議員インターンに参加し古川事務所で活動することになったのは、偶然が重なった、というのが実際のところ。とはいえ今思うと、少し勇気を出して参加したことがどれだけ大きな財産になったかというを感じます。私たちインターン生を“仲間”として受け入れてくださった環境の中で多くの刺激を受けました。そしてなんといってもたくさんの素敵な方々にお会いすることができました。出会うべくして出会う、そう信じたいと思います。

明治大学情報コミュニケーション学部2年 赤見真優

古川なおき事務所では、年間を通いいつでも学生インターンを受け入れています。お気軽にご連絡下さい!



お気軽にご連絡ください。

FAX: 045-366-9700 / TEL: 391-4000

E-Mail: naoki@furukawa2002.com

みなさまのご意見をお待ちしています!

古川なおき政務調査事務所

〒241-0825 横浜市旭区中希望が丘199-1

E-mail: jimu@furukawa2002.com

